

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

# 国鉄労働者の闘い反響 びだの矛盾をひきわいたし

## 整備新幹線問題 政府と自民の対立、激化

12月16日

**政治の影**

**整備新幹線 大赤字の試算**

政府はこの数字を前面に  
早期着工にブレーキを  
かけたが、自民は反発

玉虫色の案はもうムリと大蔵

朝日新聞

いま、国鉄「赤字」を生み出してきた張本人である政府・自民党、財界が分割・民営で甘い汁を吸いつくそうとしている中で、総額二〇兆円といわれる整備新幹線問題で大揺れだ。これなど氷山の一角だ。もともと矛盾が吹き出し、国鉄労働者や国民を犠牲にした「国鉄改革」がますます明らかになっていく。

### 政府・自民 整備新幹線で対立

国鉄法案が成立した翌日の「読売新聞」でさえも「二八日参院本会議で成立した」が衆・参両院の審議でも解決の糸口が見いだせず先送りされた課題は多い。国鉄長期債務のうち十四兆七千億円の国民負担分の処理、六二年度から三年間で三千万円もの財源不足となる国鉄共済年金対策、総額二〇兆円の整備新幹線着工問題、いずれも膨大な財源が絡み、財政再建路線の中で政府は苦しい対応を迫られることになる」と報じた。

先ず、整備新幹線問題に火がついた。

### 生き残り策し右往左往

整備新幹線ばかりではない。長期債務、共済年金、ローカル線、何よりも余剰人員対策など何が解決し、決着したというのだ。

動労革マル・松崎や鉄労・志摩、国労内右派、そして、革同、協会派など国鉄

内における一切の者が敵の攻撃の前に「新会社」での生き残りを策して右往左往の醜態をさらしている。それをいいことに政府・自民党、財界はやりた放題のことをやろうとしている。

## 国鉄は私鉄並みでいいか

それによる、新事業体の労働条件は、おむね私鉄並みの水準に引き上げるといふ方向が打ち出された。しかし、わたたしは黒字経営の私鉄と、巨額な赤字を背負い、かつ国民にも膨大な負担をかける国鉄の新事業体の労働条件が同じなのか、という率直な疑問をもち、私鉄並みの労働条件では、赤字体質の国鉄新会社が、容易に黒字経営できないことを、設立委員会は改めて認識して、今後の会合で労働条件の相違をうめても

わたしが不慮に思っているのは、大赤字をつづけた国鉄が、黒字経営の私鉄並みの働き、はたして新事業体を運営できるかどうかである。国鉄が生まれ変わるに当たって、私鉄よりも厳しい条件から出発して当然であり、今度そういった甘い許容をうけるに、設立委員会が気がついてほしい。

### 国鉄労働者の決起を恐れている

「新会社」の採用基準・労働条件が「設立委員」によってだされた。「私鉄なみ」について中曽根や財界の広報紙「サンケイ新聞」は、十二月十三日付の紙上で「国鉄は私鉄並みでいいか」などの見出しで「黒字経営の私鉄と、巨額な赤字を背負い、かつ国民にも膨大な負担をかける新事業体の労働条件が同じでいいか・・・大赤字をつづけた国鉄マが、黒字経営の私鉄並みの働きで、果たして新事業体を運営できるか・・・国鉄が生まれ変わるに当たって、私鉄よりも厳しい条件から出発せよ」といつている。マスコミによる新たなデマキャンペーンの開始だ。

法案強行の暴挙、すべての矛盾を先送りの中で必ず国鉄労働者の反撃が開始される。敵は一番恐れているのだ。